



宙吊りに
してあげる。
ぶら下げてあげる。
これが調和だ！
亡命作家、ゴンブローヴィッチが
書いた最後の小説「コスモス」を大胆にアレンジし
「KOSMOS(コスモス)」公演が日本にアレンジし
★人間の行動の歪みが壮観なまでに表出され、
無駄が削ぎ落とされた鋭利さが際立つ。
ベアタ・ゴルジュカ(ポーランド、批評家)

ヴィトルド・ゴンブローヴィッチ「KOSMOS(コスモス)」原作

空間演出家 小池博史 脚本・演出

KOSMOS

2024年
3月21日 Thursday ~ 24日 Sunday *全5公演

東京公演最終日

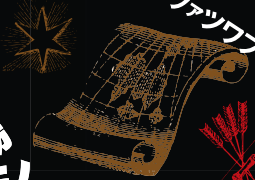
小池博史ブリッジプロジェクト-*Odyssey*
& グロトフスキ研究所

KOSMOS
WITOLDA
GOMBROWICZA

演奏・作曲 ヴァツワフ・ジンヘル

WATO DA APRIE

コ





脚本・演出・構成・振付: 小池博史

演奏・作曲: ヴァツワフ・ジンペル

出演:

松島誠 今井尋也

荒木亜矢子 中島多羅 野村陽介

シルヴィア・H・レヴァンドスカ

マレク・グルジンスキ カシュカ・ドゥデク

ダビット・パロヤン アリチア・チルニヴィッチ

美術: 山上渡、小池博史

映像: アドリアン・ヤカウスキ、岸本智也

衣装: エディタ・クリシェヴィッチ

照明: 森規幸、ヤロスワフ・フレット、ダニエル・クズマ

音響: 深澤秀一

人形・小道具: マウゴシヤタ・ブラシュカ、森聖一郎

翻訳: シェミスラフ・ジュタフィエ

舞台監督: 阪野一郎

撮影・編集: 白尾一博

宣伝美術: 梅村昇史

制作: 穂坂裕美、黒田麻理恵、中谷萌、柳澤梨夏、金井玲奈

主催: 株式会社サイ

共催: グロトフスキ研究所(ポーランド)

協賛: 葦田秀策、ポーランド広報文化センター

後援: 外務省、豊島区

協力: 株式会社長谷萬、株式会社黒山社中、EARTH+GALLERY、シルクロード能楽会、株式会社ババドゥ(株)ティーエムオー(サンクチュアリ)ブリッジズファウンデーション、公益財団法人セゾン文化財団、急な坂スタジオ
都民芸術フェスティバル主催: 東京都/公益財団法人東京都歴史文化財団

2024 都民芸術フェスティバル

2024年
3月21日 Thursday ~ 24日 Sunday *全5公演

●21日(木)19:00開演 ●22日(金)19:00開演★

●23日(土)13:30開演/18:30開演★ ●24日(日)14:00開演

開場は開演の30分前 アフタートークあり★

東京芸術劇場 シアターイースト

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1丁目8-1

●前売券

一般 5,500円 U25 3,300円 高校生以下 2,800円

●当日券

一般 6,000円 U25 3,800円 高校生以下 3,300円

※当日、年齢の確認できるものを提示していただく可能性があります。



●チケットのお申し込み:
全席自由(入場整理番号付)
<https://n-kosmos.peatix.com>

●チケットに関するお問い合わせ:
hkbpoyaku@gmail.com

※3才以下のお子様のご入場はご遠慮ください。

●公演に関するお問い合わせ

株式会社サイ/小池博史ブリッジプロジェクト-Odyssey

tel:03-3385-2066, mail: sai@kikh.com HP: <https://kikh.org/>

KOSMOS
WITOLDA
GOMBROWICZA

DIRECTION BY HIROSHI KOIKE MUSIC BY WACLAW ZIMPPEL

「コスモス」あらずじ
原作◎ヴィトルド・ゴンブローヴィッチ
1965年出版
主人公の青年が借りた部屋の周辺
では、不可解な出来事が次々と起
こりはじめた。青年は、その出来事
を観察しはじめる。しかし、彼の頭
の中はそれ以上に、住民の若き夫
婦の情事や、夫人の小間使いの唇
に支配されていくこととなり、次第
に混迷していく……。

N KOSMOS

グロトフスキ研究所 Instytut Im. Jerzego Grotowskiego
二十世紀を代表する演出家、イェジー・グロトフスキの演出法、哲学、作品に
関する知識の記録と普及を行う世界的に知られた実践的な機関。

ヴァツワフ・ジンペル Wacław Zimpel
ポーランドの現代ジャズシーンを牽引するアルトクラリ
ネット奏者。クラシックをキャリアのスタートとしながら、ジャ
ズや即興演奏、電子音楽での精力的な活動を行う。
電子界のカリスマ、ジャックルトンやジェームスホールデ
ンとのコラボレーションが世界中で注目されている。



山上渡 Wataru Yamakami
1981年高知生まれ、長野育ち。現代美術家。
「岡本太郎現代芸術賞」特別賞(2009)、「Tokyo
Midtown Award 2013」準グランプリ・オーディ
エンス受賞(2013)、2018年度文化庁新進芸術
家海外研修制度によりインドネシアに渡航。



●山上渡「N/KOSMOS-コスモス」美術展
2024年4月4日(木) - 14日(日) @EARTH+GALLERY(東京・木場)

小池博史 Hiroshi Koike
空間演出家・作家・振付家、映画監督、「舞台芸術の学校」代表。
1982年より「ババ・タラフマラ」、2012年より「小池博史ブリッジプロジェクト
-Odyssey」を主宰。ジャンルを跨ぐ作品群を18か国にて85作品を創作。42
か国で公演。2021年、9年に渡る6時間作品「完全版マハーバーラタ」を上演。
2023年1~2月、『火の鳥プロジェクト』第一弾「KOSMOS(コスモス)」を
グロトフスキ研究所(ポーランド)にて制作&公演。

